

第1回プレ協議会(H18.11.30)等における準備

・九州圏広域地方計画を考える上において必要と思われる論点の抽出(422の論点)

16の論点 学識経験者等の意見・提案

- 1 災害が多発する九州でどこでも安全・安心で豊かな暮らしができる
- 2 自然が豊富な九州の環境保全と都市活動との共存
- 3 九州の豊かな自然環境とふるさと景観の保全活用
- 4 文化を活かした地域活性化・交流人口の拡大
- 5 九州の豊かな自然を生かした国際観光の振興
- 6 産業における国際競争力の確保及び向上
- 7 自動車産業・半導体産業等の集積を活かした産業展望
- 8 自立的な九州ブロックの形成を促進する都市機能の向上
- 9 近接するアジアと一体となった交流圏(シームレスアジア)の構築
- 10 今後成長が期待できる産業の集積・育成
 - 11 地球規模の環境問題への取組
 - 12 離島・半島・中山間地域への支援対策のあり方
 - 13 農林水産業の振興(日本の食料基地としての産業展望)
 - 14 地方分権時代にふさわしい多極型の交流と連携
 - 15 民間主体の重視
 - 16 子育て支援サービス等の充実、地域全体で取り組む子育ての推進

※下線箇所は、活力ある経済社会を目指す検討小委員会の設立のための項目

小委員会検討項目

- | | |
|-------------|---|
| 東アジア関連の論点 | ○自動車産業・半導体産業等の集積を活かした産業展望(7)
【主な提案】産業クラスター計画の推進/「ものづくり力」の強化と九州のマザー工場化/優秀な海外人材の活用促進等 |
| | ○今後成長が期待できる産業の集積・育成(10)
【主な提案】これまでに蓄積された技術を活かした成長産業の育成/農林水産分野と工業分野との融合、連携、産官学連携/知的財産戦略の推進等 |
| 観光・交流関連 | ○産業における国際競争力の確保及び向上(6)
【主な提案】品質面、コスト面での競争力/日本(九州)にしかできないものづくり等 |
| | ○九州の豊かな自然を生かした国際観光の振興(5)
【主な内容】外国人の受け入れ環境の整備・向上/国際的に活躍できる人材の育成等 |
| 九州圏の活力関連の論点 | ○近接するアジアと一体となった交流圏(シームレスアジア)の構築(9)
【主な内容】九州を地理的優位性の活用/円滑で一体性のある交通・情報体系の構築(シームレスアジア)等 |
| | ○文化を活かした地域活性化・交流人口の増大(4)
【主な内容】農水産物をはじめとする特産物のブランド化の推進/伝統工芸の育成・振興/観光を担う人材の育成/産業を支える人材の育成と供給等 |
| 産業の強化関連 | ○農林水産業の振興(日本の食料基地としての産業展望)(13)
【主な内容】高品質な農産物・食品の得しえを活かした輸出の本格化/九州内に立地する研究所を活かした高付加価値農産物の生産と商品化/農林水産業の担い手育成・確保等 |

資料作成

第1回検討小委員会(H19.3.23)

・16の論点及び事務局提案資料に対して、具体的な課題や問題点を議論

主な議論の内容

- ①経済成長の著しい東アジアと九州圏との結びつきをどのように捉えていくか?
- ②東アジアのなかで九州圏はどのようなビジネスモデルを構築するか?
- ③経済活力を維持するために、都市と地域が連携して地域の個性や既存のストックを活用した特色ある地域づくりを行うことが必要ではないか?
- ④地域経済の維持を実現する方向性はどのようなものがあるのか?

主な議論の内容

- | |
|---|
| ②東アジアのなかで九州圏はどのようなビジネスモデルを構築するか?
→環境問題等でリーダーシップを発揮
→IT、ソフト産業等の頭脳産業を集積
→アジアにおけるブランド力の強化 |
| ①経済成長の著しい東アジアと九州圏との結びつきをどのように捉えていくか?
→東アジアへの過度な依存は避けるべき
→世界を視野に入れた発展を目指すべき |
| ③経済活力を維持するために、都市と地域が連携して、地域の個性や既存のストックを活用した特色ある地域づくりを行うことが必要ではないか?
→産業間で南北連携を考えるべき
→若者の雇用機会を広げるべき |
| ④地域経済の維持を実現する方向性はどのようなものがあるのか?
→医療・福祉等の産業は、高齢化社会が進化する地域経済にとって重要
→農業、食品製造業等の安定産業を重要視すべき |

第2回小委員会(H19.4.27)

・これまでの意見等を踏まえ、活力ある経済社会を目指すにあたって、8つの論点を整理し、特に重要度の高い項目を絞り込み、課題への対応の方向性等を議論

8つの論点

- 論点1 産業集積を活かした新たな産業展望
論点2 新産業を核とした産業振興
論点3 ものづくり基盤の強化
論点4 観光資源等による魅力創出
論点5 東アジアへの玄関口としての社会基盤の整備
論点6 持続的な成長を牽引する都市圏の形成
論点7 多種多様な人材が集積する産業構造の形成
論点8 地域を支える産業の振興と安定的発展

※下線箇所は、特に検討小委員会で議論を要すると考えられる項目

・論点1、論点2、論点8に絞って議論

・論点7に絞って議論
・必要に応じて他の論点も議論

8つの論点

- | | |
|--|---------------|
| 論点1 産業集積を活かした新たな産業展望
新たな付加価値の創造/集積産業の継続的な発展/科学技術によるイノベーション等 | 第2回議論 |
| 論点2 新産業を核とした産業振興
次世代産業の育成/東アジアにおける環境循環圏の形成/産学官、企業間等連携の促進等 | 第2回議論 |
| 論点3 ものづくり基盤の強化
内発的企業を育成する環境整備/知的・産業クラスター等の形成促進等 | 必要に応じて第3回以降議論 |
| 論点4 観光資源等による魅力創出
地域資源の認識/九州観光のブランド化等 | |
| 論点5 東アジアの玄関口としての社会基盤の整備
アジアに開かれたネットワークの形成等 | 第3回議論 |
| 論点6 持続的な成長を牽引する都市圏の形成
都市型産業の育成/魅力ある都市圏の創出等 | |
| 論点7 多種多様な人材が集積する産業構造の形成
人材が集積する産業構造の形成等 | 第2回議論 |
| 論点8 地域を支える産業の振興と安定的発展
地域特性を活用した産業振興/地場産業を担う人材の育成・確保等 | |

中間レポート骨子案(構成図)作成

中間レポート骨子案(本文)作成

中間レポート案(構成図)作成

第3回小委員会(H19.6未予定)

・論点整理等に対応した重要施策、プロジェクト等について議論を予定

第4回小委員会(H19.7未予定)

重点施策・プロジェクト等について議論(例示)

中間レポート案(本文)作成